

こもれび・komorebi・木もれ日

木もれ日

総合建設・一級建築士事務所
株式会社 日向建設 ひゅうがけつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://hyuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303



『自分達の家だから、家づくりに参加したい！』 手作りの味わいがある家づくり

藤沢市 I 邸 2002年改装工事済



みんなが集う、リビングのダイニングテーブルにて。奥様とふたりの可愛いお嬢さん。お父様は今日はお仕事。

今月は、鎌倉マイホーム学院の第二期生の I 邸宅へお邪魔しました！平成14年6月に中古住宅を購入された際に、リフォーム工事を行った I 邸。そのリフォームからもうすぐ1年になるところです。「I 邸のリフォーム工事では、お客様と私達とが一緒になって工事を進めていったという、今までにない内容のお仕事をさせて頂いた記憶があるんですよ。」と日向社長。さてどんなお宅なのでしょう？ 訪問するのがとても楽しみです。

「住宅を購入した時に、まず、家の構造にとって重要な部分をしっかり補強しました。そして、洗面所と2階の納戸以外は、全て改装リフォームを行ったんです。中でも特に、キッチンとトイレがとてもいい雰囲気に仕上がったんですよ。」
さっそくキッチンを見せて頂きました。そして、思わず「これはステキ…！」とうっとりしてしまいました。「まるで、インテリア雑誌にでてくるようなキッチンですね。レンガがお洒落で、とっても可愛いです！」



キッチン廻りの色に合わせて、アンティークな風合いの淡色のレンガを使用。

キッチンといえば、普通はステンレスなどのシステムキッチンが一般的です。そして壁はもちろん、塩化ビニールクロスのような素材が使われています。このようなレンガを使ったキッチンに改装しようと思ったのは、何かお手本があるのですか？

「ええ、何年か前に、壁がレンガで出来たキッチンを経験したことがあったんです。その時、いつかやってみたくて憧れていたんですよ。でも、レンガにしたいと言ったら、最初は反対されましたね(笑)。」

「そうでしたね(笑)。まず、レンガは手入れが大変なんじゃないかと思ったんです。油が飛んでベタベタになったり、匂いがついたりするのではないかと心配でした。」

「でも、そういう心配よりも、住む方が満足出来るような家づくりが絶対にいると思っていました。そのほうが、こうすれば良かったという後悔をしないでしょうし、ご自分の家に対して愛着がわくからです。そこで、思い切ってキッチンの壁をレンガでやってみよう！と決心したのです。」

今日は、本当に驚きました。実は工事後、始めてキッチンのレンガを見たのですが正直びっくりしています。汚れがぜんぜん目立ちませんね。何か特別なお手入れをしているのですか？」

「いいえ、ほとんど手入れしていないんですよ(笑)。うちは、子どもがいるから油を使った料理もかなり多いんですけど、拭いたりしていないのに汚れが付かないのです。不思議ですね、綺麗なままなんです。とても満足していますよ。お手入れもいらないから、レンガは主婦の強い味方だな～！って思っているんです(笑)。
新しい家に住むときは、自分の好きな物・気に入ったものを取り入れて、リフォームしてみたかったです。家族みんなが心地よい空間に居られるような家を作りたいと思ってだけです(笑)。自分達が気に入れば、それがいちばんですよ。」という奥様。

もちろん、もっと予算をかけて直したかった所もいくつかあるそうです。でも、現時点で必要なものと不要なものをしっかり見極めて、無理のない予算でリフォームをしようと考えたそうです。リフォームをする時の、考え方の良い成功例になっていると思います。
お部屋のインテリアや家具もセンスがキラリと光るものが多く、ちょっと真似て見たいなと思うようなお宅です。



光が差し込むキッチンは、水色のインテリアがお洒落。使えるものは活かす賢いリフォームのお手本です。



二人のお嬢さんが、一生懸命塗った壁！
そのあと、海で拾ってきた貝殻と、おはじきやビーズで飾り付けをして完成！



「トイレの壁が、本当に可愛らしいですね！
晴れた日の海みたいな雰囲気ですよ。
お嬢さん達も一緒に壁を塗ったそうですが、どうでしたか？」
「ちょっと疲れました(笑)…。」
「最初は、特にこんな風にしよと思って塗ったわけではないんです。」と奥様。なんとなく塗っていたらこのようになってしまったので、貝殻とビーズで飾ってみようかな？ と思いついてやってみたそうです。

では、どのような手順で行なわれたのでしょうか？
材料：漆喰の粉・水・壁に付ける物(貝殻、ビーズ)
道具：ケレン(へらのような物)・左官コテ・バケツ
①前に塗ってあった壁をケレンでしごいて落とす。
②漆喰の粉をバケツに入れ、水でペースト状になるまで溶く。
③ペースト状になった、漆喰を左官コテで壁に塗りつけていく。
④少し時間をおき、半湯きになった所で、貝殻やビーズを押し付けるようにしてはめ込む。完全に乾くまで、2日間程そのままにしておく。
[素人が壁を塗る時のポイントは、きれいにむら無く塗ろうとせず、自由気ままに塗る事です。思いがけず、芸術的な作品に仕上がりますよ。]

「もとはコスト削減のために、自分達で塗り替えようと思ったのですが、想像していたより大変でした(笑)。でも、子ども達も気に入っているし、思い出にもなったので、やって本当に良かったです。」
「写真だと、この可愛らしさが伝わりきれないのが、とても残念ですね！」

『自分達で住む家だから、自分達の気に入ったように作り上げたい！』という気持ちに、しっかりお答えできる仕事ができれば、私達もとてもうれしく思います。こうした家づくりをこれからも皆さんと一緒に考えていけたらと思います。(ご協力ありがとうございました。)

簡単にできる収納のコツ 『家の中のすべてのモノに、帰る場所を作る』

あなたは、片付け上手ですか？
それとも、なかなか片付けられないほうですか？
収納のとらえ方として、まず“適量の暮らし”を考えてみましょう。家の中を見回してみるとたくさんのモノがあると思います。片付けのポイントは、そのモノの量を適正にすることから始まります。
衣服…洋服などは1～2年かけて、必要でない物を見極めます。衣替えの時期に合わせて、着ない服を処分しましょう。タンスの中もすっきりとしてくるでしょう。
押入れやダンス・物入れなどを片付ける時は、中に入っているモノを全部出してから、きちんとしまし整理出来ます。
家の中に置くものは、片付ける空間(モノの家)を作ってから、すべてのモノを定位置に置く。これがポイントです。いつ、どうして必要なのか、どこに置くか？ 買う前にしっかりと考えましょう。
ただし、『インテリア』と『見せる収納』は別物です。ご自宅に必要なのは、飾り用か、収納用なのかをきちんと考えましょう。
いつも片付いている家は生活がしやすい快適な家でもあると言えます。
新学級の4月、まずは身の回りの整理整頓から初めてみませんか？
お片づけできるかな？



4月の『家』 お手入れポイント



- 外周リ
冬の間の汚れが家にもたまってます。4月は、外壁、堀、屋根などの水洗いに適した時期です。梅雨前にトヨの中も掃除をしておくとも良いでしょう。ペンキの塗り替えを考えている場合も今の時期にするといいですね。
- 家の中
天気の良い日は、思いっきり窓を開けて春風を入れましょう。畳やカーペットを上げて害虫駆除をするといいですね。絨毯などは、晴れた日に外に干しましょう。衣替えに合わせて、“適量の暮らし”を見直すいい機会です。
- 夏に向けて
網戸のホコリを落とし、穴の補修をしておきましょう。ベランダの汚れも取っておきましょう。

不動産のお話

前回、不動産の『仲介手数料』についてお話ししました。“一つの物件の取引において、間に不動産業者が何社入っても、お客様が支払う金額は変わらない”ということが解って頂けたでしょうか？
今回は、その『仲介手数料』の計算式の疑問です。取引金額の3%+6万円ということは解りましたが、なぜ+6万円なのでしょう。これは、金額によって手数料が変わることと関係してきます。
昭和45年に建設省が告示した『宅地建物取引業法』の規定による、報酬の額を定めた法律があります。その中に、物件価格の内200万円以下は5%、200万円～400万円以下は4%、400万円以上は3%と定められています。
たとえば、1,000万円の物件であれば、200万円までが5%で10万円。200万円～400万円までが4%で8万円。残りの600万円が3%で18万円。合計すると10万円+8万円+18万円=36万円になります。ですから、1,000万円の3%(30万円)に6万円を足すのと同じ金額になるのです。
『宅地建物取引業法』は、昭和27年に出来た法律です。当時は、200万円以下の物件も数多くあったのだと思われます。

編集後記

桜の花がきれいに咲き始めました。毎年春を迎える今の時期、満開の花を咲かせて楽しませてくれる桜に、感謝したい気持ちになります。
日本の平和とは反対に、戦争が始まってしまいました。事の善し悪しは別として、戦争は必ず犠牲者が出ます。特に、巻き添えになった子供達の映像を見るたびに、心が痛みますね。
新年度を迎える4月には、いろいろな場面で新しい旅立ち・新たな挑戦を経験する人たちがたくさん居ることでしょう。この時期に家の中も見なおしてみませんか？ どこか気になる所はありませんか？ ご家族の皆様にとって